

聖路加国際病院

夏休み公開講座～小児がん支援のレモネードスタンド体験～

“小児がん”ってどんな病気？小児がん支援のレモネードスタンドを体験しよう！

(共催：聖路加国際病院／認定NPO法人キャンサーネットジャパン)

感想の報告

2018年8月21日(火) 大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター2F 3210室にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。当日は、51名の小中高校生が参加され、うち46名の方から感想を頂きました。(回収率86.7%)。また、見学の皆様25名からも感想を頂きました。頂きましたコメントは、判読が難しいものも含め、原則全て記載し紹介しています。ご回答ありがとうございます。

(1) 参加者(小中高校生)の属性

①性別：男性	20.0%
女性	82.2%
②属性：小学生	60.8%
中学生	10.8%
高校生	28.2%

(2) イベントに申し込んだ理由。

【小学生】

- ・ 小児がんとレモネードスタンドのことが知りたかったから
- ・ 小児がんをもっと知りたくて申しこみました。
- ・ 小児がんのことをもっとよく知りたかったから。
- ・ 参加したいから理由は、夏の自由研究にしたいから。
- ・ 姉が真部先生にお世話になっているから。
- ・ 小児がんというものを知らなくて、「レモネードスタンド」という、支援がやっていたので、よく知りたいと思ったからです。
- ・ 小児がんのことがしりたかったから。
- ・ レモネードがどうして世界に広まったか、小児がんはどうしてできてしまうのかが気になって応募しました。
- ・ 小児がんについて知りたかったことと、レモネードスタンドがどうして始まったのかが気になったから。
- ・ ママがいこうていったから
- ・ おばあちゃんが、がんでなくなって、子どものがんってあるのかなとおもって小児がんというのがあってそれを知りたかったから。
- ・ 小児がんをいっぱい知って、小児がんを知らない人にも、知ってもらえるため。

- ・ お医者さんになりたかったのもうしこみしました。
- ・ 将来の夢が薬剤師なので、少しでも色々なことを知りたいと思ったから。
- ・ 学校からお便りがきたから。将来の夢が助産師になりたいので、いい機会だなと思ったから。
- ・ レモネードが大すきだから。
- ・ 友だちにさそわれたので申しこみました
- ・ 学校でレモネードのちらしをもらったから。
- ・ 小児がんについて知りたかったからです
- ・ 人体に興味があって病気のしょうじょうがあるかを聞くだけでなんの病気かをつきとめてみたいです。
- ・ レモネードスタンドがどういうことか知りたくなってきました。
- ・ もしかしたら私もなるかもしれないし、なった子たちは、どんな生活をしているのかを勉強したいと思ったからです。
- ・ ボランティアについて知りたかったから。小児がんとはどうゆう病気か知りたかったから。小さな子たちはどうやって小児がんに向かっているのかを知りたかったから。
- ・ 親が聖路加大学に通っていて、ある先生の小児がんの授業を聞いて興味を持ったから。
- ・ ママが入れた。
- ・ ママがかってにいれた。
- ・ 小児がんについて知りたかったから しょうらい、医者になりたかったから

#### 【中学生】

- ・ 一つ上の姉（中3）がここの病院でお世話になったから。
- ・ 母が申し込んだから。
- ・ 学校の課題のため
- ・ 姉が申し込んだため
- ・ 小児がんについて知りたかったから。

#### 【高校生】

- ・ 将来看護師になりたいと思っており、学校でチラシを見た際に興味を持ったため。
- ・ 以前、成育医療センターでレモネードスタンド体験を行っていたのを知り、どんなものなのか気になったから。医療関係の仕事に興味があるから。
- ・ 学校、および地域の高校生と実際に開催しようとして計画しているため。小児がんに興味があったから
- ・ 学校の英語の授業でALSF（アレックスレモネードスタンドファンデーション）について学び、興味を持っていた時に丁度学校からイベントの案内があったので、申し込みました。医師を志していることも理由です。
- ・ 子供たちが苦しんでいる小児がんについてあまりよく知らなかったので、正しい知識を蓄えたかったから。
- ・ 学校で知り、興味を持ったからです。
- ・ テレビで見たことがあってレモネードスタンドに興味があったから。

- 学校で知り、興味を持ったからです。
- 学校の紹介で知り、興味を持ったため参加しました。
- 将来、看護師になりたいとっていて、病院のことを少しでも分かりたいと思い申し込みました。
- 小児がん（医療全般）に興味はあるから。経験を通して何か得られるものがあれば良いと思ったから。以前 AYA 世代について話を伺ったことがあり、小児と比較できたらと思ったから。聖路加の先生方のお話や、体験談が聞けるから。
- 将来、医療の道に進みたいとっていて、学校でパンフレットを見つけたので参加しようと思いました。
- 看護師になりたいなと考えているので、良い経験になればよいなと思い参加しました。

### (3) 「小児がん」について思ったこと・感じたこと。

#### 【小学生】

- ふつうのがんと、一緒だと思っていたから ちがうんだなーって思った。
- いろんながんの人たちがいて大変なことなんだとあらためて感じました。
- 小児がんをよく知れて大変だ！と思ったけどまずはもっと色々調べてもっとよく考えてみたいと思います。
- 大変だなと思った、なぜなら毎日検査をしたりした話しをしていたから。
- 当たり前なのが、恵まれているように感じられる。つらい思いをのりこえられるのはすごい。
- 私にも、手と心臓の病気があり、手が小さいころ動かなくてリハビリをしたら、動くようになり、心臓はなにかをいれたので、なんともありませんが、小児がんは、なにかをして治るものではないということがわかりました
- 乳がんなどは小児がんにないんだなと思ったことと小児がんは、吐き気などあるんだとおもいました。
- 小児がんは毎年 2,000～2,500 もの人が小児がんです。
- 小児がんになってしまった子がたくさんいたことに初めにおどろき、命を落とした人の数にも、おどろきました。それでも、小児がんのことや、病気と戦っている子のことを知りたかったからです。
- 小児がんてっほんとに大変だしさみしい。
- たのしかった
- 小児がんの子は子どもなのに病気で大変なおもいをしてつらいと思いました。
- もしわたしが、小児がんだったら、いっぱい治療したり、いっぱいしなきゃいけないことがいっぱいあるからわたしだったら泣いちゃうかも、でも小児がんになっている人は、すごいがんばっているなぁーと、思いました。
- まだ子どもなのにがんになるのはかわいそうだなとおもいました。  
小児がんになった子ども達は、70%の人たちが助かるということを知った ・今は、30%の子どもたちが亡くなってしまいうから未来は 20%、10%と、どんどん減らし、いつかは 0%になって、全ての子どもが大人になればいいと思う。

- ・ 小児がんは、たくさん種類があって、毎年、約 2,000 人の子どもが辛い思いや、苦しい思いをしていると思うと私達は恵まれているなと思いました。
- ・ 小児がんはとてもむずかしい手術だと感じました。レモネードスタンドの話を聞いて、そんなことがあるんだ、と学びました。
- ・ 小児がんになった子は、とてもかわいそうだなと思いました。
- ・ 小児がんと大人のがんは、ちがうところ。動画を見て、がんはこわいと思った。
- ・ 小児がんにかかった赤ちゃんや、小学生は辛い思いをしているんだなあと思いました。
- ・ 小児がんというのはなにかわからなかったけど今日の説明で0さい~15さいのがんのこととわかりました。
- ・ 小児がんのことは知らなかったのでまだ小さい子が、がんばって治療をしていることがすごいと思いました。
- ・ 小児がんは治る確率が高くなっていてすごいと思いました。小児がん「白血病」などいろいろな症状があります。そして私になったらどういうことがあるのかを知れてよかったです。アレックスちゃんはすごいと思いました。じぶんも小児がんになっているのにほかの子どもたちのためにがんばっているなんてすごいと思いました。いろいろなことが知れてよかったです。
- ・ 昔、不治の病といわれていた小児がんが約 70%が生きていられうことを知って医学のことを知りたいと思った。小児がんの患者はとても大きな不安と恐怖心をいただいていることを知って、自分の環境とはとても違うということが分かった。今まですべての病気が治ると思っていたが、子どもたちをまきこむ病気をとても憎く思う。
- ・ がんの治療をしてると、どうしてもつらいことばかりだけど祭りや行事ごとをやって楽しい思い出になることはとても良いことだと思いました。
- ・ 小児がんは子供たちにとってやだなと思うので子どもたちがもっともっと頑張っ  
てほしいと思ったので自分も頑張りたいなと思いました。

#### 【中学生】

- ・ がんは手術などで治すものかと思っていたが、放射線や、抗がん剤だけで治すこともできるのが驚いた。アレックスさんの小さな考えから世界中の人たちが動き出しているのにすごいなと思った。もしかしたら自分もなってるかもしれない。
- ・ 成人のがんより種類が多いのに、なる人数が少ないので、大変だなと思いました。年々、助かる人数が増えているのは良かったです。もっと研究が進んで、将来は全員の子供たちが助かるといいなと思います。
- ・ 小児がんはなるとつらく悲しい生活をおくることになるのを知った
- ・ どんな小さい子も「小児がん」にかかってしまう可能性があるということ。そのため、多くのちりょうが必要で、きふが必要なこと。苦しみながらも頑張ろうと思っている子供が多いので自分もできる範囲でお手伝いできればいいと思いました。
- ・ 早く生存率が上がるように研究に協力したいです。おいしい物が食べられなかった

りして、とても辛そうだと思います。また、健康な人にもがんの細胞があるのだと知り驚きました。

#### 【高校生】

- 学校の授業などで小児がんの患者さんのドキュメンタリーを見たりする機会はあったけれども、講義を聞くまで、何%の患者さんが治るなどの実態は知らなかったので、とても良い機会になりました。また、実際に経験者の方の話を聞いて、今の自分を見つめ直すことができました。貴重なお話ありがとうございました。
- 小児がんが70~80%の治る病気になりつつあることはとても意外だった。また小児がんを治すために、患者の周りにいるたくさんの人々の存在や職業を知り、職業選択の幅が自分としては広がったと思う。実体験を聞いたことで小児がんがより身近に感じられた。
- 自分たちと同世代の人々で苦しんでいることがよくわかった。なにか、助けになるようなことをしてあげたいと思った。
- 小児がんはもっと生存率が低いものだと思っていたが、意外にも高くて驚いた。また、がんに限らず、チーム医療の大切さを実感した。
- 小児がんは大人のがんとは違う、ということを知りました。生存率が上がっている一方で今だ？30%の人が亡くなっているという事実を目をそむけず、これからより多く子どもたちが元気になれるよう、多くの人が携わっていることを忘れないようにしたいです。
- 小児がんと大人の方が発症するがんが違うものということを知りました。また大学生の方のお話を聞いて、想像しているよりも治すのが大変なんだなと思いました。
- 大人のがんとは種類がちがうものだと知りました。小児がんについて全然知らなかったけれど、もっと知らせてみようと思った。
- このイベントに参加して小児がんを大人のがんは違うという事が分かり、ベールちゃんを使ったプレパレーションなど小児がんならではの工夫も知れて興味深い体験ができました。
- 小児がんと大人になるがんが別物であること、2,000~2,500人の子供が発症し、70~80%が治るということを知りました。自分も基金に積極的に参加するなどして亡くなる子供が少しでも減るよう手助けしたいと思いました。
- 小児がんと成人のがんは、ここまで違うとは思いませんでした。そして、年間2,000人の子どもが小児がんで苦しんでいることも今日知りました。年々生存率が上がってきてはいるものの、小児がんになってしまう人数は減ってはいないので、近い将来減ることを願います。
- 小児がんは成人のがんと異なり、種類はもちろん、ケアの仕方も違うことが具体的に分かり良かった。個人的に聖路加国際病院でボランティアした際、小児病棟と同じフロアであったので、より感じるものがあった。全員が全員前向きなわけではないと思うけれど、その中でも夢を持って病気と闘えることは凄いなと思った。
- 小児がんにも様々な種類があり、年間2,000人も診断されている事を知り驚きました。

現在では70%くらいの確率で治るといっても30%の方は亡くなってしまっていると考えたらやっぱり恐ろしい病であると思いました。しかし、一生懸命向き合っている子どもが沢山いるということも教わったので私も今やるべきことにしっかりと向き合っていきたいと思いました。

- ・ 生存率が7割を超えているそうなので、治療後の将来のことを考えていかないといけないなと思いました。入院中にも「子ども」なので成長できる、学習できる機会が大切だなと改めて感じました。

(4)「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと。

【小学生】

- ・ アレックスみたいに、レモネードスタンドをしてみたいなって思った
- ・ 女の子がレモネードをやって病気の人たちを助けてきたのでえらいなと思いました。
- ・ アレックスがレモネードスタンドを始めたことに感動しました。
- ・ またやりたいと思った、なぜならアレックスさんが始めた話を聞いたから
- ・ レモネードは短時間でできて、甘くておいしいから、良い体験になったと思う。
- ・ 私も支援をしたいと思いました。
- ・ アレックスはすごい人だと思いました。
- ・ レモネードスタンドを体験して、人に物を売ることの大変さを感じ、アレックスちゃんの思いをつなげていけることが嬉しいです。
- ・ レモネードスタンドをやってみたくなりました。
- ・ 私も友達とレモネードスタンドを開きたいです。
- ・ アレックスは、自分で、レモネードスタンドを自分自身で、やりたいといったことがすごくすごいなと、思いました。
- ・ レモネードスタンドはすっぱくておいしかったです。
- ・ なぜ「レモネードスタンド」をやろうかと思ったのか、「レモネードスタンド」をやる意味などを知ることができた。
- ・ 「レモネードスタンド」でかせいだお金でたくさんの子どもが元気になってほしい。
- ・ レモネードスタンドは、短時間につくれて、おいしいので、すごくいい飲み物だと思いました。アレックスは、とても勇気があってすごいみんな（小児がんの子ども）のために、一生懸命頑張っていてすごく感動しました。私も勇気が出たら、やってみたいと思いました。
- ・ 入院して、いろいろなことができなくなるから、レモネードスタンドを家で、作ろうと思います。
- ・ レモネードをつくるのも楽しかったし、レモネードで小児がんになっちゃった子どもを、救えたらいいなと思いました。
- ・ レモネードは甘すっぱく味を感じた。アレックスちゃんがレモネードがどうして頭にかんできたのかなあと思った。
- ・ 小児がんの子どもたちがレモネードを売ってかせいだお金を病院に渡して、小児がんの子どもたちを助けたことがすごい。

- ・ レモネードスタンドが病気を治すためのお金を稼いでいるということは知りませんでした。とてもいい考えだと思いました。
- ・ 私もレモネードスタンドがやっていたら募金をしたいと思いました。
- ・ レモネードスタンドを実際にやってみたいと思いました。甘酸っぱくて、おいしかったです。こんな簡単でおいしいので家でもやりたいです。そして支援したいです。
- ・ レモネードで医学の進歩を助けられると知り、驚いた。アメリカの一人の女の子が基で始まったとは知らなかった。自分は病気なのに人のことを考えて行動するという選択をしていたが、私にはできない。もしかしたら死んでしまうかもしれないのに・・・けれどレモネードを売り、天へめされるまでお金を送りつづけていたことをとても尊敬する。
- ・ もし研究費やがんの治療のお金になるなら自分もレモネードスタンドを開いてみようと思った。
- ・ 小児がんで病気になってもレモネードスタンドができるなんてびっくりしました。最初は大丈夫かなと思いました。
- ・ レモネードスタンドの大切さを知ることができた。苦しい思いをしている子供たちに少しでも役に立てたらいいなと感じた。レモネードがおいしかった。あたりまえのことが、恵まれている。

#### 【中学生】

- ・ レモネードは自動販売機などで普通に売っているが、支援、募金などの言葉でいろんな人が動くことがわかった。一杯でも飲むことで苦しんでいる人たちの助けになること。
- ・ まだ4才の女の子が、病院に募金をしようと考えたことが、すごいと思いました。この活動が、もっと広まるといいなと思いました。
- ・ 簡単で作りやすく配りやすい。
- ・ 1杯80円という安さでも、たくさんの方が飲んでくれることで、大きなお金になるので、いい活動だと思いました。実際やってみて、意外とかんたんにつくることができたので、今後このようなボランティアをしてきたいなと思いました。
- ・ レモネードスタンドで350万円もたまったことを知り、心が温かい人が多いのだと思いました。私もやってみたいと思います。

#### 【高校生】

- ・ 小学生や中学生の方たちと一緒にレモネードを作れて楽しかったです。レモネードも美味しくできました。学校などで機会があればレモネードスタンドを開いてみたくなりました。
- ・ レモネードを作るのはとても簡単で学校祭でやってみたいと思った。
- ・ 「レモネード」というものにこだわる必要もないのかなと思った。→すっぱい、甘いなどの意見が別れるため。中学2年生のときにアレックスのことに関する新聞記

事を読んで興味をもち、いつか自分もやりたいと思っていたことを先日(6月頃)、NHKのLINEアカウントニュースで横浜の男の子の記事を発見してきました。来年度必ず開催したいとおもいます！！

- ・友人と実際に学園祭でレモネードスタンドをやりたいという話をしていたものの、断念せざるを得なかったので、体験できて良かった。
- ・アメリカの子が、小さいながらに思いついたこの方法で小児がんのことを知ってもらえる良い機会になる上、このお金で、より研究が進むことを願っています。
- ・レモネードスタンドを作って、とても身近に活動が出来ると知れました。文化祭でも出したいです。
- ・文化祭でやりたいと思った。誰にでもできる、すばらしい活動だと思った。
- ・アメリカのアレックスの友達を助けようという思いから始まったレモネードスタンドのストーリーにとっても感動した。自分から行動して、人を助けようとするのはとても大切だと思う。
- ・自分もまた別の機会に参加したいと思いました。行う側も受ける側も楽しく手軽に基金に参加でき、小児がんのことを少しでも知るきっかけとなるので凄く良い活動だと思いました。
- ・アレックスちゃんは小児がんをもつ女の子で、当時4歳だったとは思えない発想の持ち主だということにすごくおどろきました。このレモネードスタンドのおかげで、治療することができている子どもたちがいると思うと、これからも続けてほしいし、チャンスがあれば参加したいなと思いました。
- ・言ってしまうとレモネードを作るだけの作業だが、その過程を楽しめたり、実際にやってみて人と交流することでまた楽しめたり、レモネードスタントの力ってすごいなと思った。参加して・・・医療人を目指す1人として、医療界では自分が想像しているよりもたくさんの方のことを思考しながら行っていることを改めて実感した。1人1人に理解を示せて適切なケアができる人になりたいと強く思えた。
- ・小さなレモネードスタンドでも大きなものをもたらしている事を知り自分自身も今度学校の文化祭などで取り組みたいと思いました。
- ・募金で研究が進むのは良いことだと思うので活動をもっとたくさんの方に知ってほしいと思いました。機会があればできたら良いと思いました。

#### (5) 見学者の属性

①性別：男性	4.0%
女性	96.0%
②立場：親	88.0%
その他	12.0%
③参加目的	
小児がんについて知りたかったから	68.0%
子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから	8.0%
知人・友人が小児がんだから	0.0%
家族や知人ががん(大腸がん・乳がんなど)なのでがんについて知りたか	24.0%

ったから	
レモネードスタンドのお話を TV で見たことがあったから	32.0%
ボランティア活動や、社会貢献に興味があったから	48.0%
送迎（付き添いのため）	44.0%
その他	32.0%
<p>その他（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身が病院勤務の為、子供に命の大切さや生きる為の時間の大切さを知って欲しかったから。</li> <li>・ 小学校で高学年がレモネードスタンドをやっており、娘が興味を持ったので。</li> <li>・ 娘が助産師になりたいと夢を持っているので病気の子どもたちにも興味を示したため付き添いで来校。</li> <li>・ 子どもの自由研究の一つとして。</li> <li>・ 学校でレモネードスタンドをやった為。何の為にどのようにしてやったのかを知りたかったため。</li> <li>・ 子供は病気もなく元気であるが、同じ年代で小児がんとたたかっている子がいる事を知って欲しかった。</li> <li>・ 学校にこのイベントのパンフレットが掲示されていて興味を持ったから。小児がんを子どもに知ってほしいと思ったから。</li> <li>・ 小児がんに興味があるから</li> <li>・ 小児科の先生にすすめられて</li> </ul>	

#### 【感想】

- ・ 今回は貴重なお話をありがとうございました。がんを克服された大学生のお兄さんの話を真剣に聞いている娘の姿を見て涙が出てきました。娘の学校の文化祭で昨年レモネードスタンドを知りました。これからも協力していけたらと思います。
- ・ 分かりやすくお話されていて勉強になりました。レモネード作りは人数が多かったので、役割分担などしてもいいかもしれませんね。
- ・ 小児がんについてよく分かりました。種類が全然違うのですね！生存率が高くなっているものの70~80%、これを100%にする努力が日々されていることも知りました。100%になるのもすぐではないかと感じました。ありがたいです。実話はとても痛感されました。がんばっている姿がすばらしいです。立派な薬剤師さんになる事、まちがいなしですね！未来を感じます。子供は男の子（6年生）ですが、ヘアドネーションするために髪を伸ばしています。イヤな事を言われることもあります。31 cm伸ばすとがんばっています。8/4,5には地元のお祭りでレモネードスタンドを開催しました。これからも心からボランティア出来たらと思います。ありがとうございました。
- ・ 小学生の息子と参加させていただきました。真部先生のお話もわかりやすく、体験を語ってくれた葵くんのお話をお聞きし胸がつまる思いでした。元気に薬学部通われているとの事、すばらしい青年にご成長されているとこちらも大変嬉しくなりました。頑張っって子供達思いの薬剤師さんになって下さいね。本日はどうもありがとうございました

ました。レモネードとってもおいしかったです。

- ・小児がん経験のある方の生の声（体験談）が聴けるのはとても良かったです。緊張されながらも、わかりやすくていねいにお話してくれた姿に感銘を受けました。「しろさんのレモネード屋さん」の絵本を読んでいたのも、子どもたちにとってレモネード作りを体験出来て良かったです。私自身ががんの治療中で小児がんではありませんが、子どもにはがんとを”身近”に”2年生の年齢なりの理解”をしてほしかったので、このようなイベントに参加でき、それが叶いました。ありがとうございます。
- ・小児と成人のがんは違うけれども、治療の辛さ（身体、心）はどれも同じであり、治す為の努力は計り知れないものと感じた。中には亡くなるケースもあり、そういった方の話も聞けたら良かった。今後もこのようなイベント（講義）があったら是非参加したい。機会があったら大人のがんについてのイベントがあれば参加して、色々な話を聞きたい。
- ・「しろさんのレモネードスタンド」を娘と一緒に読み、もっと詳しく知りたいと思い娘と参加しました。身内にもがんとを患っている人がおり、娘もがんとについても色々知って欲しい。そしてそういう方への理解、優しい手を差しのべられる人になって欲しいと思い参加致しました。
- ・本日は貴重なお話を頂きありがとうございました。息子が医者になりたい夢を持っていることと、家族ががんなのでがんとについて知りたいと思い参加させて頂きました。息子が入院していた時、小児がんの子たちを見てきたので小児がんについても知りたいと思っていました。よりがんとについて知ることができました。本日はありがとうございました。
- ・普段の生活の中で小児がんや病気のことに向きあえる時間がつくれた事がとても良かったと思います。子供は小学生なので、どこまで理解できたかはわかりませんが、加藤さんの貴重なお話を聞いた事や、レモネード屋さんを通じてボランティアの気持ちを持ってもらえたらと思っています。夏休みに良い経験を親と子でさせていただきありがとうございました。
- ・小児のがんと成人のがんは違う！という事に驚きました。成人のがんに比べて化学療法や放射線療法に対する効果が極めて高いということ、現在では70～80%が治るようになってきたことなど、小児がんについて子供でも分かるように説明してくださり、とても良かったです。小児がんの体験談のお話をきいて、もし自分の子供がそういうことになったらと、話を聞きながら、葵くんもよく辛い治療に耐えたなと思いましたが、御両親、妹さんの気持ちを考えたら涙が出そうになりました。1人でも多くのお子さんが治療をして治ることを願います。
- ・真部先生のお話がとても分かりやすかったです。小児がんの生存率が70%～80%という数字に驚きました。大人のがんと小児がんは違うということも初めて知りました。また、小児がんの体験談について”口から食べられること、普通に生活できることがとても幸せなことなんだ”という言葉、心に刺さりました。お話をしていただいた方には立派な薬剤師さんになってもらいたいです。そして自分の子供が今日このレモネードスタンド体験をすることで、小児がんとで苦しんでいる子どもたちのことを知り、

自分に何ができるか?と考えるきっかけになってくれたら良いと思います。素晴らしい講座をありがとうございました。

- 娘は6才の時に小児がんになりました。現在は元気にくらしております。今があるのは、沢山のの方々のおかげだと思っています。小児がんの治療成績が向上していくため「レモネードスタンド」をひらいて少しでも貢献できたらと思います。また、小児がんについても広めていければと思います。本人は、小1の時の入院生活の思い出はつらかったことよりも、楽しい思い出ばかりです。病気であったことも忘れていくことのほうが多いのだと思います。それは、多くの方々に支えられ、快適な入院生活ができたからです。これからひとり立ちしていく中で、本日、講義いただいたことを振り返りながら自分の体を、命を大切にしていってほしいと願っています。
- 先生や小児がん体験者の方の貴重なお話を聴かせて頂きました。レモネードスタンドのことは少し聞いたことはありましたが本日よく理解でき、今後何か機会があったら少しでも協力できたらとも思いました。
- 具体的に先生のお話も分かりやすく、体験談もぐっと胸にせまるものがあった。レモネード作りもできて見聞が広がり、理解しやすかった。娘には夢を実現し人に仕えていってほしい。レモネードはさっぱりととてもおいしかったです。大勢の集まる機会に提案してみたい。
- 今まで小児がんという1つの病気とと思っていましたが、今回のお話を聴いて小児がんにも種類があり、まだ治療方法を探している最中ということがわかりました。実際にレモネードを作り、保護者がお客さんとしてやってみることで自分たちが開催する時のイメージが作りやすかったと思います。
- 低学年の子どもには少し難しい内容でしたが、子供から小児がんってこわいね、などという言葉が出てきました。内容が分からなくても、こわいとか、いたそうとか、ビデオを見ながら小児がんということが少しでも分かってくれたのでは・・・と思いました。目では見えない所で苦しんでいる人、頑張っている人が世の中にはたくさんいるということが分かってくれれば・・・と思っています。
- 小児がんと大人のがんとが違う事が分かった。大人のがん以上にチーム医療も、医療以外のサポートも多く必要だと感じました。加藤さんのお話が、当時の心境が強く伝わってきて、今後のご活躍を期待します。レモネードスタンド検討したいと思います。
- 小児がんと成人がんは全く別の物だと今日初めて知り驚いた。また小児血液がんの治療率の高さにも驚いた。各公立・私立 小・中・高等学校で本講演内容を是非実施して頂ければとても幸いです。7月下旬、8月上旬開催も希望します。人生の初期にがんという疾患をより多くの人を知るためにレモネードスタンドをより広くひろめるために。
- 医長先生はご多忙な中こういったことに時間を費やして下さることに頭が下がります。“小児”ということで、くまの人形やきょうだいレンジャーなどの配慮が素晴らしいと思いました。又、大人と小児のがんが違うことも初めて知りました。体験談をお話下さった大学生はとても分かりやすく話して下さい、とても良かったです。もっともっとお辛いことが沢山あったかと思いますが、薬剤師を目指していらっしゃるのがす

ばらしいです。ぜひ頑張ってください！！ありがとうございました。

- 難しい分野ですが、それがわかりやすく興味深い形の講義になっており、講演に参加できてよかった。実際の体験者のお話は感動的で自分の意思ややる気を奮い立たせるよいきっかけになりました。
- 小・中・高生がわかる、理解する説明は工夫があったと思いますが、どの参加者も理解が深まったのかと思います。夏休みの最後に貴重な体験ができました。
- 実際に survivor の方のお話を伺う貴重な機会でした。私も闘病経験がありますが、白血病は本当に辛い体験なのだろうと思いました。医学生として今後の勉強・実習に活かしていきたいです。ありがとうございました。
- 小児がんについて詳しくわかり、とても有意義な時間を過ごすことができました。子供たちの心にも何か響いたものがあると思います。レモネードを実際に作り、中学生や高校生の方たちとも触れ合いがありとてもいい体験になりました。また来年もぜひ参加したいと思います。本日はどうもありがとうございました。
- 成人のがんと小児のがんの種類が違う、又小児がんの種類が多いということを知りました。小児がん経験者の方のお話を親子で聞くことができ貴重な時間となりました。ありがとうございました。
- 小児がんの情報はメディア等で知っていましたが、70~80%の治癒率で元気に生活ができるようになる知識は今日初めて知りました。一日も早く100%達成になる様皆で頑張っていきましょう。年間2000万円の支援で小児がんの研究のお手伝いができるとの一歩がレモネードスタンドの支援、皆で応援しましょう。レモネードスタンドの紙コップに Alex の Story とレモン色の紙コップで活動したらどうでしょうか？